

**水産物の産地水揚量・卸売価格、輸出入
及び家計消費の月別動向について(月報)**
(平成21年7月)

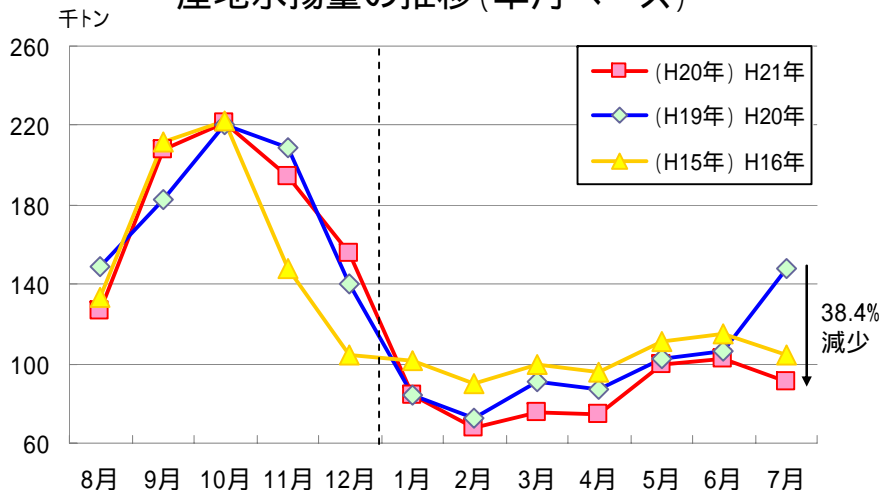
平成21年9月
水産庁漁政部企画課

1 産地水揚量の動向

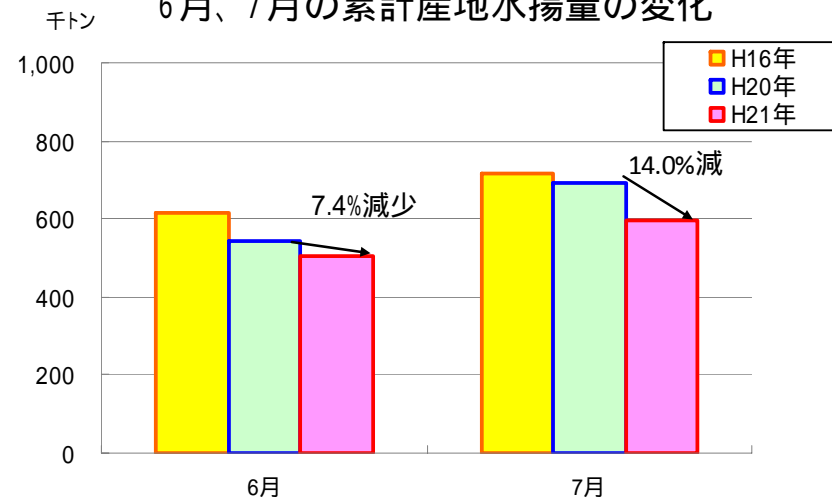
平成21年7月の水産物産地水揚量は91千トで、前年同月と比べ38.4%減少した。生鮮するめいかでは、大中型まき網漁業等が好調であったことから、前年同月と比べ397.2%増加。さば類では、北部太平洋海区での漁獲が少なかったことから、前年同月と比べ71.5%減少。また、生鮮かつお(66.7%減)、冷凍かつお(35.3%減)では、前月に引き続き漁獲が低調であったことから、水揚量が大幅に減少した。

平成21年の水産物の累計産地水揚量は7月までで596千トで、前年同月と比べ14.0%減少した。これは、累月ベースで、まいわし(104.0%増)、生鮮するめいか(101.0%増)、生鮮びんなが(23.0%増)等で水揚量が増加した以上に、さば類(20.0%減)、生鮮かつお(46.0%減)、ほっけ(29.0%減)等で水揚量が減少したためである。

産地水揚量の推移(単月ベース)



6月、7月の累計産地水揚量の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21累計
水揚量	数量(千トン)	1,603	84	67	75	75	99	103	91	596
	前年同月比	-1.1%	0.0%	-7.2%	-16.7%	-14.3%	-3.5%	-3.5%	-38.4%	-14.0%
	H16年同月比	-1.7%	-17.1%	-25.5%	-24.9%	-21.6%	-11.1%	-10.7%	-12.6%	-17.1%

出典: 農林水産省「産地水産物流通統計」

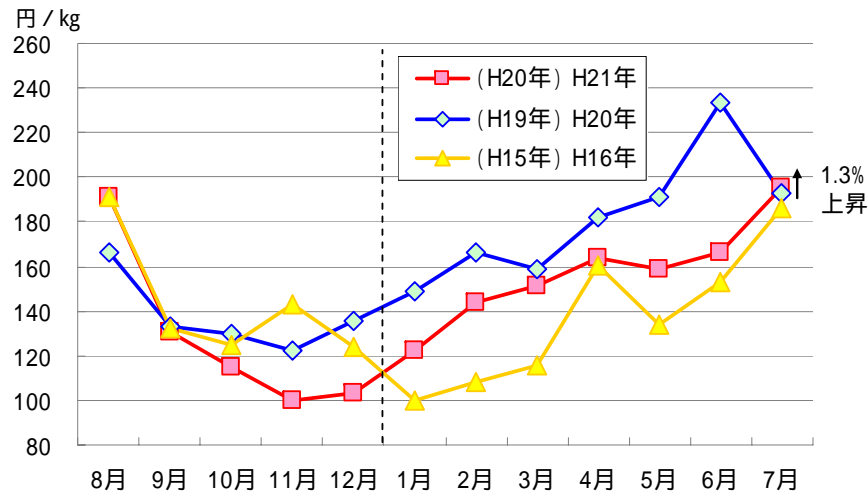
- 注: 1) 本統計は、全国2177漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。
- 2) 本統計による平成19年の年間水揚量(1682千トン)の総生産量(5639千トン)に対する割合(カバー率)は約30%である。
- 3) 2003年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。
- 4) 表中の については、平成15年合計値との比較である。

2 産地平均卸売価格の動向

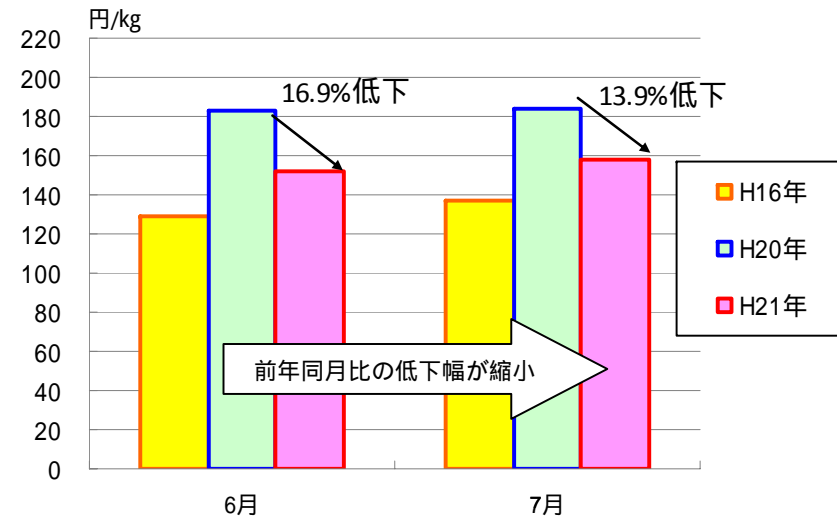
平成21年7月の平均産地卸売価格は195円/kgで、前年同月と比べ1.3%上昇した。これは、前年同月と比べさば類、冷凍かつお、生鮮かつお等で水揚金額が減少したものの、生鮮するめいか、まいわし、さんま等で水揚金額が増加したためである。

平成21年の平均(累計平均)の産地卸売価格は7月までで158円/kgで、前年同月と比べ13.9%低下し、前年同月比16.9%低下であった先月から低下幅は縮小した。累月ベースでは、生鮮するめいか、まいわし、生鮮びんなが等で水揚金額が増加したが、水揚量の少ない冷凍かつお、さば類、生鮮かつお等で水揚金額が減少した。

産地平均卸売価格の推移(単月ベース)



6月、7月の産地平均卸売価格(累計平均)の変化



		H20平均	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21平均
平均産地卸売価格	価格(円/kg)	150	123	144	151	164	159	166	195	158
	前年同月比	4.9%	-17.5%	-13.5%	-4.9%	-9.9%	-17.0%	-28.9%	1.3%	-13.9%
	H16年同月比	0.0%	22.7%	33.4%	30.5%	2.2%	18.7%	8.5%	5.1%	15.3%

出典: 農林水産省「産地水産物流通統計」

- 注: 1) 本統計は、全国2177漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。
 2) 本統計による平成19年の年間水揚量(1682千トン)の総生産量(5639千トン)に対する割合(カバー率)は約30%である。
 3) 2003年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。
 4) 表中の「」については、平成15年合計値との比較である。

(参考)魚種別の累計水揚量・卸売価格

品目	累積の上場水揚量 (t)			累積の平均卸売価格 (1kg当たり円)			
	平成21年 1月～7月	20年 1月～7月	対前年 同期比	平成21年 1月～7月	20年 1月～7月	対前年 同期比	
			%			%	
まぐろ (生鮮)	1	1 324	2 584	51	1 554	1 657	94
" (冷凍)	2	126	264	48	1 880	3 475	54
びんなが (生鮮)	3	32 640	26 604	123	259	297	87
" (冷凍)	4	12 873	7 599	169	269	400	67
めばち (生鮮)	5	3 387	4 218	80	947	998	95
" (冷凍)	6	10 463	13 181	79	767	818	94
きはだ (生鮮)	7	5 684	6 017	94	630	654	96
" (冷凍)	8	3 855	5 658	68	530	578	92
かつお (生鮮)	9	27 630	51 423	54	364	282	129
" (冷凍)	10	122 775	140 954	87	151	200	76
まいわし	11	18 341	8 990	204	101	107	94
うるめいわし	12	9 009	6 874	131	72	83	87
かたくちいわし	13	58 942	77 464	76	34	57	60
まあじ	14	63 718	65 415	97	171	232	74
むろあじ	15	10 229	14 234	72	123	102	121
さば類	16	142 055	178 304	80	76	94	81
さんま	17	2 680	1 932	139	416	461	90
ほっけ	18	46 088	65 102	71	47	58	81
するめいか (生鮮)	19	18 218	9 086	201	155	177	88
" (冷凍、遠洋)	20	713	1 267	56	176	183	96
" (冷凍、近海)	21	4 868	5 528	88	241	206	117

資料:農林水産省「産地水産物流通統計」

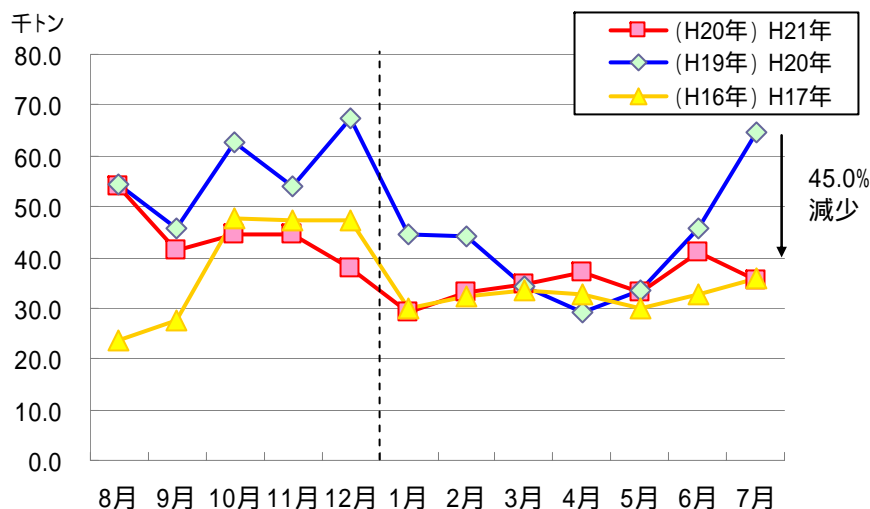
注:1)「まぐろ」とは、くろまぐろ及びみなみまぐろの合計である。

3 - 水産物輸出数量の動向

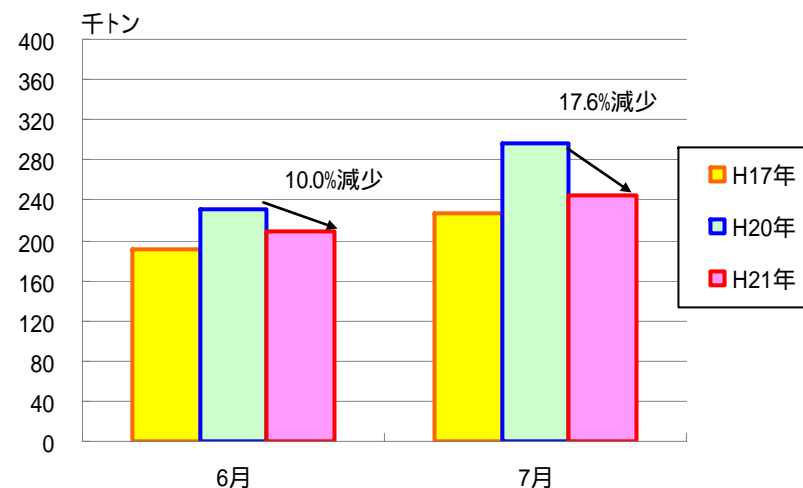
平成21年7月の水産物輸出量は35.5千トンを、前年同月と比べ45.0%減少した。すけとうだら(37.3%増)、いか(75.4%増)等が好調で前年同月を上回ったものの、円高や国内生産量の減少により、かつお類(77.6%減)、さば(68.1%減)、さけ・ます(74.8%減)等で輸出量が大幅に減少した。

平成21年の水産物の累計輸出量は7月までで243.8千トンを、前年同月と比べ17.6%減少した。品目別にみると、びんながが好調であったまぐろ類(62.0%増)、すけとうだら(18.4%増)、冷凍さんま(16.4%増)等で輸出量が増加。円高や世界的な経済不況の影響により、かつお類(75.0%減)、さば(36.0%減)、いか(37.4%減)等の品目で輸出量が減少した。

水産物輸出数量の推移



6月、7月の累計水産物輸出量の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21累計
輸出	数量(千トン)	518.4	29.2	33.0	34.8	37.2	33.1	41.0	35.5	243.8
	前年同月比	-15.3%	-34.3%	-25.5%	1.5%	27.7%	-0.7%	-10.7%	-45.0%	-17.6%
	H17年同月比	22.2%	-2.3%	1.9%	4.1%	13.3%	10.5%	25.4%	-0.5%	7.5%

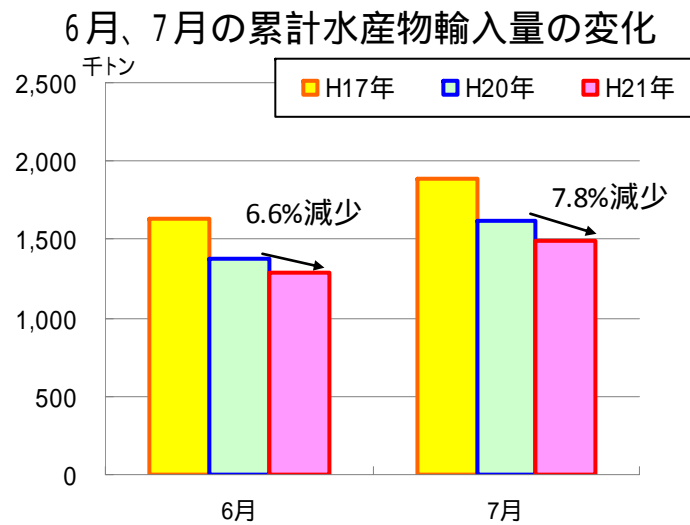
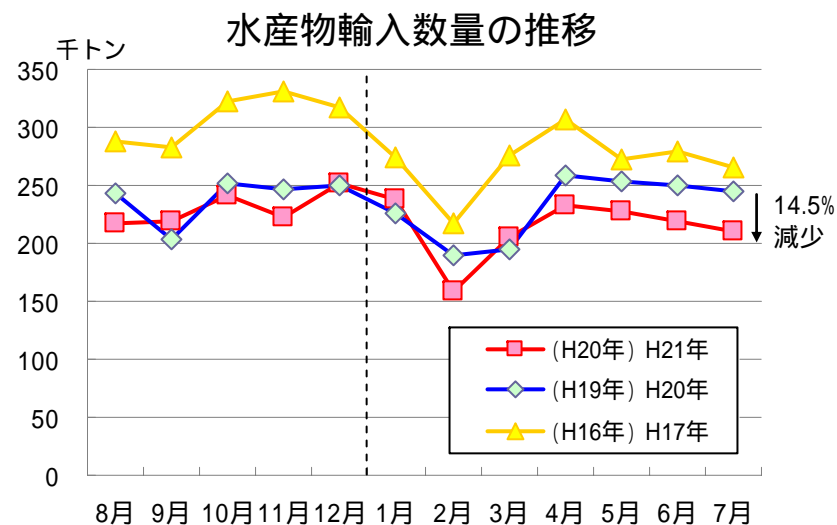
資料: 農林水産省「農林水産物輸出入情報」

- 注: 1) 表中の については、平成16年合計値との比較である。
 2) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

3 - 水産物輸入数量の動向

平成21年7月の水産物輸入量は210千トで、前年同月と比べ14.5%減少した。国内生産量の減少から国内需要が高まったかつお類では輸入量が243.8%増加。また、米国産の増加により、にしんで67.9%で輸入量が増加した。あじでは、オランダの減産により輸入量が61.1%減少。また、さば(73.6%減)、いか(23.6%減)等で輸入量が減少した。

平成21年の水産物の累計輸入量は7月までで1,492千トで、前年同月と比べ7.8%減少した。品目別にみると、円高や国内需要が増加したかつお類では輸入量が103.1%増加。魚粉(8.5%増)、あさり(48.5%増)等で輸入量が増加している。さけ・ますでは、チリ産銀さけの減産や成約の遅れにより輸入量が8.3%減少。たらでは、米国産の減産により23.6%輸入量が減少。また、さば(30.7%減)等の品目で輸入量が減少した。



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21計
輸入	数量(千トン)	2,768	238	159	206	233	227	219	210	1,492
	前年同月比	-4.0%	5.2%	-16.4%	5.9%	-10.3%	-10.1%	-12.0%	-14.5%	-7.8%
	H17年同月比	-20.6%	-13.3%	-27.1%	-25.5%	-24.3%	-16.5%	-21.4%	-21.2%	-21.2%

資料：農林水産省「農林水産物輸出入情報」

- 注：1) 表中の については、平成16年合計値との比較である。
- 2) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

(参考) 品目別の累計輸出入数量

輸出量(千トン)				輸入量(千トン)			
品目	平成21年 1～7月	平成20年 1～7月	前年 同月比	品目	平成21年 1～7月	平成20年 1～7月	前年 同月比
さば(冷蔵・冷凍)	45.3	70.8	-36.0%	魚粉	163.8	151.0	8.5%
さんま(冷凍)	32.7	28.1	16.4%	さけ・ます(生・蔵・凍)	149.1	162.6	-8.3%
すけとうだら(生・蔵・凍)	30.1	25.4	18.4%	まぐろ類(生・蔵・凍)	124.6	131.4	-5.2%
まぐろ類(生・蔵・凍)	24.1	14.9	62.0%	えび(活・生・蔵・凍)	106.9	106.6	0.3%
さけ・ます(生・蔵・凍)	17.2	20.2	-15.1%	いか(活・生・蔵・凍もんごう含む)	47.4	49.2	-3.7%
いか(生・蔵・凍)	12.2	19.5	-37.4%	かつお類(生・蔵・凍)	37.6	18.5	103.1%
かつお類(生・蔵・凍)	10.0	39.9	-75.0%	えび(調製)	35.3	35.6	-0.6%
ホタテ貝(生・蔵・凍・塩・乾)	4.5	5.5	-19.4%	かに(活・生・蔵・凍)	34.0	38.7	-12.0%
ほや(活・生・蔵)	3.7	2.9	29.5%	たら(生・蔵・凍・すり身)	32.8	43.0	-23.6%
練り製品(魚肉ソーセージ等)	3.6	4.7	-23.5%	あじ(冷凍)	32.0	27.7	15.5%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

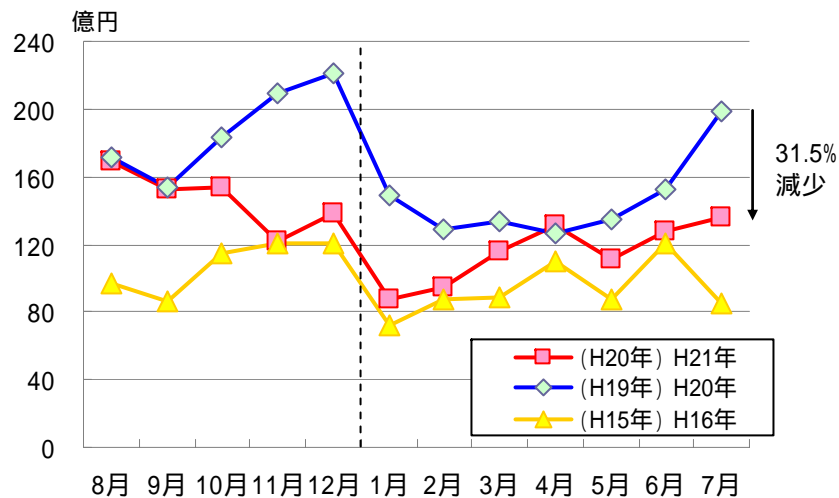
注:1)本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

4 - 水産物輸出金額(真珠を除く)の動向

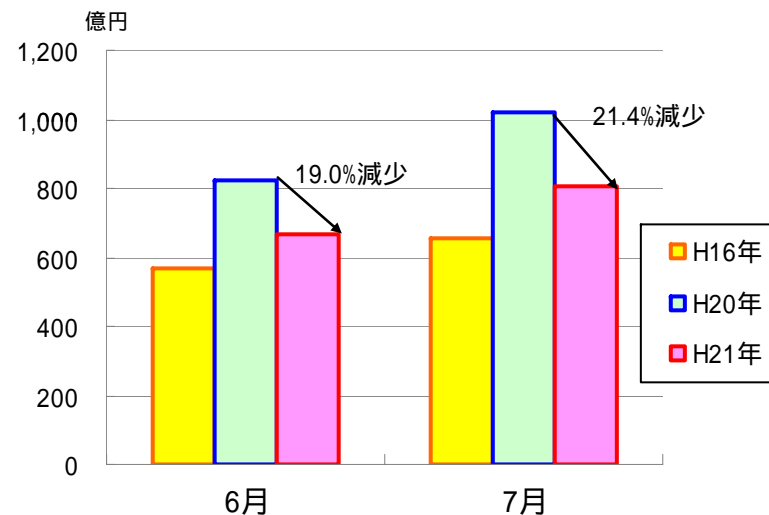
平成21年7月の水産物輸出金額は136億円で、前年同月と比べ31.5%減少した。これは、貝柱調製品(38.0%増)、ホタテ貝(36.7%増)、あわび調製品(233.8%増)等で輸出金額が増加した以上に、かつお類(85.5%減)、さば(74.6%減)、乾燥なまこ調製品(66.9%減)等で輸出金額が減少したためである。

平成21年の水産物の累計輸出金額(真珠除く)は7月までで803億円で、前年同月と比べ21.4%減少した。品目別にみると、まぐろ類(19.9%増)、貝柱調製品(27.3%増)、ぶり(42.5%増)等で輸出金額が増加。円高や世界的な経済不況により、かつお類(83.7%減)、さば(45.7%減)、乾燥なまこ調製品(32.6%減)等で輸出金額が減少した。

水産物輸出金額の推移(単月ベース)



6月、7月の累計輸出金額の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21累計
輸出	金額(億円)	1,772	87	94	116	131	111	128	136	803
	前年同月比	-13.1%	-41.5%	-26.7%	-12.7%	3.7%	-17.4%	-16.2%	-31.5%	-21.4%
	H16年同月比	59.5%	20.2%	7.0%	31.2%	19.8%	27.0%	5.7%	58.9%	23.1%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注:1)表中の については、平成15年合計値との比較である。

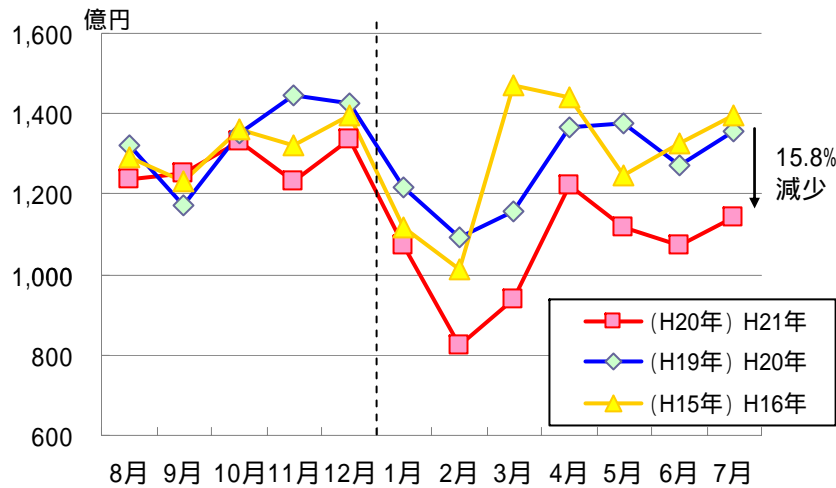
2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

4 - 水産物輸入金額(真珠を除く)の動向

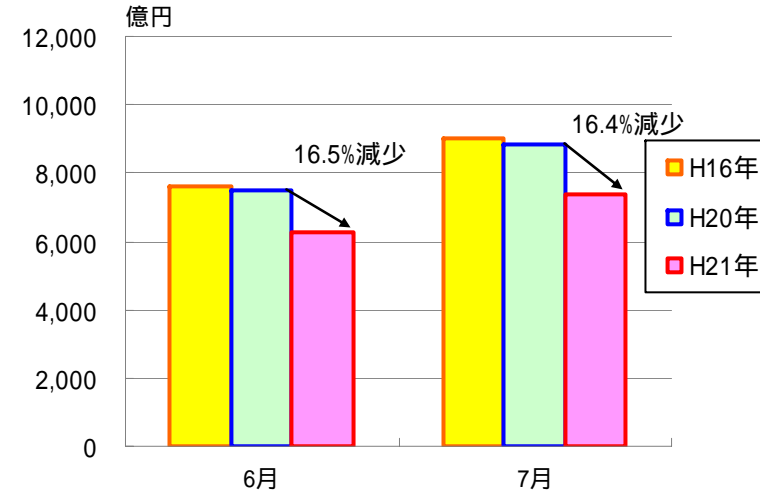
平成21年7月の水産物輸入金額は1,141億円で、前年同月と比べ15.8%減少した。これは、うなぎ調製品(76.8%増)、たこ(20.1%増)、にしん(55.1%増)等で輸入金額が増加した以上に、えび(15.5%減)、たらの卵(70.2%減)、かに(30.5%減)等の輸入金額が減少したためである。

平成21年の水産物の累計輸入金額(真珠除く)は7月までで7,384億円で、前年同月と比べ16.4%減少した。品目別にみると、あさり(49.9%増)、かつお類(37.2%増)、さけ・ます(0.9%増)で輸入金額が増加。国内需要の低迷や円高により、まぐろ類(16.2%減)で輸入金額が減少。また、たらの卵(42.9%減)、えび(11.6%減)で輸入金額が減少した。

水産物輸入金額の推移(単月ベース)



6月、7月の累計輸入金額の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21累計
輸入	金額(億円)	15,249	1,074	823	937	1,220	1,115	1,073	1,141	7,384
	前年同月比	-3.9%	-11.8%	-24.7%	-19.0%	-10.6%	-18.9%	-15.5%	-15.8%	-16.4%
	H16年同月比	-0.8%	-3.7%	-18.6%	-36.3%	-15.2%	-10.5%	-19.0%	-18.4%	-18.0%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注:1)表中の については、平成15年合計値との比較である。

2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

(参考) 品目別の累計輸出入金額

輸出金額(億円)				輸入金額(億円)			
品目	平成21年 1～7月	平成20年 1～7月	前年 同月比	品目	平成21年 1～7月	平成20年 1～7月	前年 同月比
真珠	114.5	198.7	-42.4%	まぐろ類(生・蔵・凍)	1149.4	1372.0	-16.2%
まぐろ類(生・蔵・凍)	71.2	59.4	19.9%	えび(活・生・蔵・凍)	916.5	1036.4	-11.6%
乾燥なまこ(調製)	54.2	80.5	-32.6%	さけ・ます(生・蔵・凍)	803.3	796.3	0.9%
ホタテ貝(生・蔵・凍・塩・乾)	52.5	65.2	-19.4%	たら卵(生・蔵・凍)	286.5	501.4	-42.9%
貝柱(調製)	51.4	40.3	27.3%	えび(調製)	284.0	301.1	-5.7%
さば(冷蔵・冷凍)	43.0	79.2	-45.7%	かに(活・生・蔵・凍)	228.3	323.8	-29.5%
すけとうだら(生・蔵・凍)	40.3	43.3	-6.8%	いか(活・生・蔵・凍もんごう含む)	199.1	221.2	-10.0%
さけ・ます(生・蔵・凍)	37.4	41.5	-9.9%	うなぎ(調製品)	167.2	203.4	-17.8%
ぶり(生・蔵・凍)	32.8	23.0	42.5%	たこ(活・生・蔵・凍)	155.1	253.1	-38.7%
練り製品(魚肉ソーセージ等)	29.5	35.9	-17.7%	魚粉	149.0	150.6	-1.1%

資料：農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

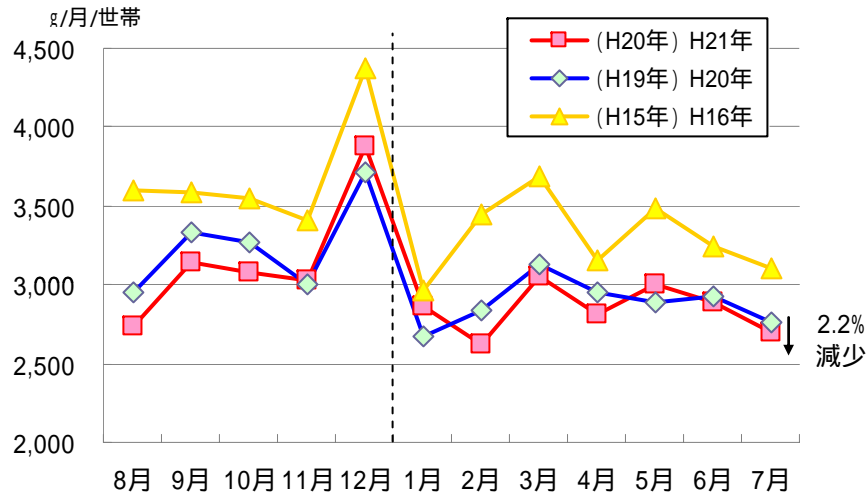
注：1) 本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

5 - 生鮮魚介の家計購入数量の動向

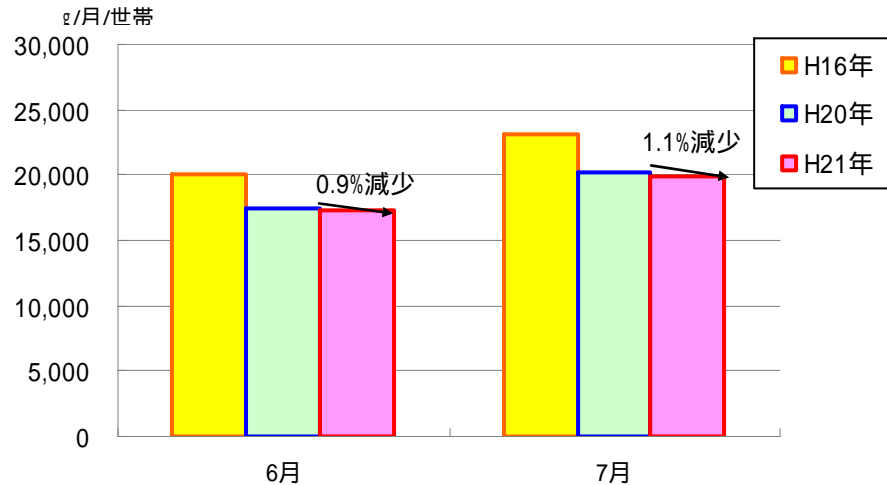
平成21年7月の生鮮魚介1世帯1月当たりの購入数量は2,701g/月/世帯で、前年同月と比べ2.2%減少した。これは、単月ベースでいか(9.4%増)、たこ(34.3%増)、えび(12.8%増)、まぐろ(7.9%増)等で購入数量が増加した以上に、あじ(18.7%減)、さしみ盛合わせ(14.6%減)、かつお(10.7%減)等の購入数量が減少したことによる。

平成21年の生鮮魚介1世帯1月当たりの累計購入数量は7月までで19,953g/月/世帯で、前年同月と比べ1.1%減少した。これは、さんま(15.0%増)、たこ(21.0%増)、えび(7.4%増)等の品目で購入数量が増加した以上に、いか(8.3%減)、あじ(6.1%減)、塩さけ(6.6%減)、まぐろ(4.0%減)等の品目で購入数量が減少したことによる。

魚介類1世帯1月当たり購入数量の推移(単月ベース)



6月、7月の魚介類1世帯1月当たり購入数量の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21累計
生鮮魚介 購入数量	数量(g/月/世帯)	36,031	2,868	2,626	3,056	2,818	2,997	2,887	2,701	19,953
	前年同月比	-5.0%	7.2%	-7.6%	-2.5%	-4.3%	3.8%	-1.4%	-2.2%	-1.1%
	H16同月比	-14.9%	-3.2%	-23.8%	-17.1%	-10.6%	-14.1%	-11.0%	-13.1%	-13.6%

資料:総務省「家計調査報告」

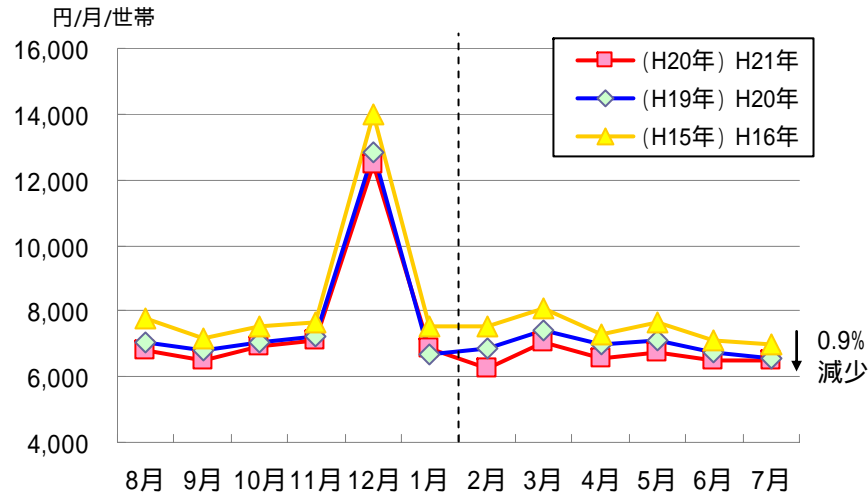
- 注: 1) 表中の については、平成15年合計値との比較である。
 2) 本統計は、全国の農林漁家を除く二人以上の8076世帯を対象とするサンプル調査の結果を集計したものである。
 3) 生鮮魚介は、鮮魚16品目、貝類5品目の合計である。

5 - 魚介類の家計消費支出の動向

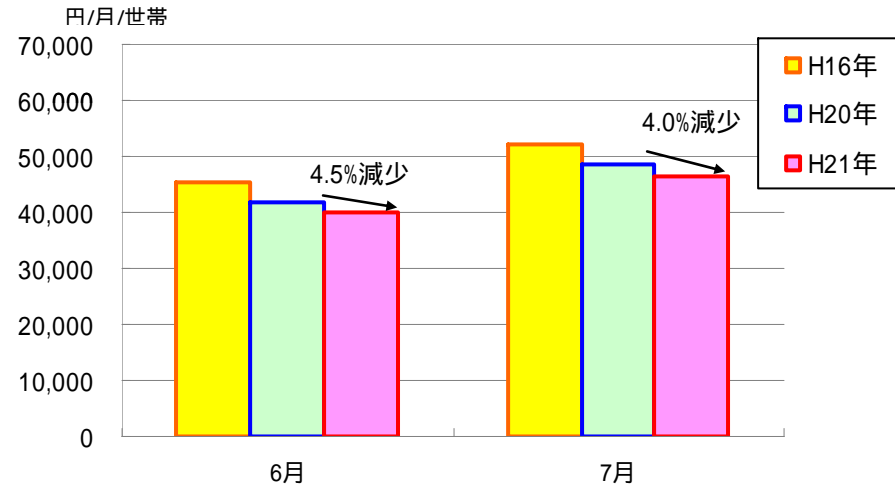
平成21年7月の魚介類1世帯1月当たりの支出金額は6,494円/月/世帯で、前年同月と比べ0.9%減少した。これは、えび(11.0%増)、魚介の漬物(8.7%増)、たこ(15.0%増)、さんま(24.6%増)等で支出金額が増加した以上に、さしみ盛合わせ(8.3%減)、しらす干し(12.3%減)、魚介のつくだ煮(17.0%減)、かつお(7.4%減)等の支出金額が減少したことによる。

平成21年の魚介類1世帯1月当たりの累計支出金額は7月までで46,469円/月/世帯で、前年同月と比べ4.0%減少した。これは、えび(3.3%増)、たこ(7.4%増)、ちくわ(5.4%増)等の品目で支出金額が増加した以上に、まぐろ(5.0%減)、いか(7.9%減)、かまぼこ(8.8%減)、たらこ(7.2%減)、あじ(11.2%減)等の品目で支出金額が減少したことによる。

魚介類1世帯1月当たり支出金額の推移(単月ベース)



6月、7月の魚介類1世帯1月当たり支出金額の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21.5	H21.6	H21.7	H21累計
魚介類 支出金額	金額(円/月/世帯)	88,211	6,851	6,230	7,039	6,573	6,767	6,515	6,494	46,469
	前年同月比	-3.5%	2.3%	-9.6%	-5.0%	-6.0%	-4.9%	-3.7%	-0.9%	-4.0%
	H16同月比	-10.4%	9.2%	17.5%	12.7%	9.7%	11.8%	8.1%	7.1%	-11.0%

資料:総務省「家計調査報告」

- 注: 1) 表中の については、平成15年合計値との比較である。
 2) 本統計は、全国の農林漁家を除く二人以上の8076世帯を対象とするサンプル調査の結果を集計したものである。
 3) 魚介類は、生鮮魚介21品目、塩干魚介7品目、魚肉練製品4品目および他の魚介加工品5品目の合計である。

(参考) 品目別の1世帯当たり購入数量及び支出金額

品目	購入数量				支出金額				品目	支出金額			
	平成21年 7月	対前年 同月比	平成21年 1~7月	対前年 同月比	平成21年 7月	対前年 同月比	平成21年 1~7月	対前年 同月比		平成21年 7月	対前年 同月比	平成21年 1~7月	対前年 同月比
鮮魚	2,458	-2.8%	17,904	-1.2%	3,422	-1.9%	25,052	-4.3%	塩干魚介	1,275	-2.7%	8,485	-7.1%
まぐろ	204	7.9%	1,434	-4.0%	462	3.4%	3,253	-5.0%	塩さけ	152	-4.4%	1,076	-5.1%
あじ	148	-18.7%	1,006	-6.1%	142	-18.4%	940	-11.2%	たらこ	269	-1.8%	1,557	-7.2%
いわし	71	14.5%	483	7.1%	60	9.1%	385	-2.3%	しらす干し	136	-12.3%	853	-8.4%
かつお	125	-10.7%	697	-7.3%	187	-7.4%	1,073	-9.0%	干しあじ	92	-3.2%	672	-6.1%
かれい	83	-5.7%	816	1.2%	91	-9.9%	947	-8.2%	干しいわし	30	25.0%	246	-10.2%
さけ	264	1.5%	1,751	1.9%	347	-0.6%	2,339	-1.6%	煮干し	30	0.0%	223	-10.4%
さば	112	3.7%	753	-2.6%	91	8.3%	634	-5.2%	他の塩干魚介	565	-1.6%	3,858	-7.2%
さんま	109	9.0%	707	15.0%	76	24.6%	368	7.0%	魚肉練製品	618	4.7%	4,764	-0.6%
たい	55	-5.2%	489	9.6%	93	-11.4%	776	-5.9%	揚げかまぼこ	172	1.8%	1,467	2.7%
ぶり	95	17.3%	1,034	-1.1%	143	2.9%	1,688	-5.4%	ちくわ	131	5.6%	1,050	5.4%
いか	315	9.4%	1,578	-8.3%	266	-2.9%	1,534	-7.9%	かまぼこ	219	3.8%	1,459	-8.8%
たこ	94	34.3%	479	21.0%	146	15.0%	784	7.4%	他の魚肉練製品	95	10.5%	785	2.1%
えび	159	12.8%	1,129	7.4%	282	11.0%	1,925	3.3%	他の魚介加工品	872	1.4%	5,518	-1.4%
かに	29	0.0%	304	9.4%	60	-11.8%	656	-2.2%	かつお節・削り節	76	-3.8%	548	-1.4%
他の鮮魚	394	-15.5%	3,482	-6.2%	576	-6.0%	4,658	-7.2%	魚介の漬物	250	8.7%	1,491	-1.1%
さしみ盛合わせ	146	-14.6%	1,156	-1.5%	400	-8.3%	3,086	-1.8%	魚介のつくだ煮	93	-17.0%	563	-10.5%
貝類	238	3.5%	2,036	0.3%	307	0.7%	2,649	-2.5%	魚介の缶詰	228	0.9%	1,413	2.4%
あさり	86	-6.5%	747	-5.0%	79	-6.0%	713	-5.3%	他の魚介加工品の その他	226	6.1%	1,506	-1.1%
しじみ	43	13.2%	190	3.8%	57	1.8%	262	0.8%					
かき	2	0.0%	299	-0.3%	4	33.3%	481	-0.8%					
ほたて貝	77	6.9%	572	6.5%	123	2.5%	881	-0.9%					
他の貝	30	15.4%	206	-5.1%	44	4.8%	312	-6.3%					

資料:総務省「家計調査報告」
(農林漁家世帯を除く2人以上の世帯)

本資料は、各々の出典に基づいて水産庁漁政部企画課で作成したものであり、本資料中における平成19年及び平成20年合計値は速報値である。

次回(平成21年8月版)の発行は、平成21年10月中旬の予定であるが、出典の公表時期などにより前後することがある。

お問い合わせ先

水産庁 漁政部 企画課 動向分析班
担当 長尾

電話:03-3502-8111(内線6578)

直通:03-6744-2344